

▼ キックオフフォーラムのご案内

上廣北海道地域共創部門キックオフフォーラム

～北海道の魅力を重ね合わせて ひとつ上の未来を ココから イマから～

開催メッセージ

2026年4月、北海道で次代の地域リーダーを育成する「上廣北海道地域共創部門 (X-UP)」が北海道大学に開設されたことを記念して、キックオフフォーラムを開催します。地域にはどんな課題があるか、課題解決を先導する地域リーダーとはどうあるべきか、この部門がそこへどう切り込んでいくのか、関係者らと意見を交わします。ネットワーキングや意見交換会も開催しますので万障繰り合わせの上ご参加をお願いいたします。

開催プログラム

▼ オープニングセッション 13:00-

- ・開会挨拶 / 北海道大学総長 **實金 清博**
- ・祝 辞 / 公益財団法人上廣倫理財団 事務局長 **丸山 登**

▼ 基調講演 13:10-

- ・北海道大学大学院工学研究院 教授 **岸 邦宏**
(上廣北海道地域共創部門 部門長)

▼ 共創地域紹介 13:40-

- ・当別町町長 **後藤 正洋 氏**
- ・奈井江町町長 **三本 英司 氏**

▼ パネルディスカッション 14:20-

～次代の地域リーダー育成はどうあるべきか～

<パネリスト>

- ・北海道大学大学院工学研究院 教授 **岸 邦宏**
(当部門 部門長・兼任担当教員 / 専門分野: 土木工学・交通工学)
- ・北海道大学大学院工学研究院 教授 **石井 一英**
(当部門 兼任担当教員 / 専門分野: 環境工学・循環共生システム)
- ・北海道大学大学院工学研究院 教授 **森 傑**
(当部門 兼任担当教員 / 専門分野: 建築計画・都市計画)
- ・北海道大学大学院公共政策学連携研究部 教授 **山崎 幹根**
(当部門 兼任担当教員 / 専門分野: 地方自治論)
- ・北海道大学教育イノベーション機構 准教授 **奥本 素子**
(当部門 兼任担当教員 / 専門分野: 科学技術コミュニケーション)

<コーディネーター>

- ・北海道大学大学院工学研究院 特任准教授 **竹口 祐二**
(当部門 専任チームリーダー / 専門分野: 地域交通・モビリティマネジメント)

▼ 部門活動紹介 15:20-

- ・部門のビジョン・ミッション・アクション / 当部門 特任准教授 **竹口 祐二**
- ・当別町での地域プロジェクト構想 / 当部門 特任助教 **渡辺 康平**
- ・奈井江町での地域プロジェクト構想 / 当部門 特任助教 **中島 佑太**

▼ クロージングセッション 15:40-

- ・閉会挨拶 / 北海道大学大学院工学研究院 研究院長 **幅崎 浩樹**
- ・ネットワーキング・名刺交換会 (15分程度)

意見交換会

キックオフフォーラム開催を記念して意見交換会を開催します。上廣北海道地域共創部門の関係者や地域からの参加者との交流の場として、リーダー育成に関する意見交換の場として、ぜひご参加ください。

・と き / 同日16:30～18:30

・と ころ / ホテルマイステイズ札幌アスパン 2F「アスパンB」
(北海道札幌市北区北8条西4丁目5-5)
(フォーラム会場より徒歩20分程度)

・会 費 / 5,000円

と き **7月3日(金)** (開場・受付開始 12:30)
13:00-16:00

と ころ 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟
/ 2階レクチャーホール (鈴木章ホール)
/ 札幌市北区北15条西8丁目



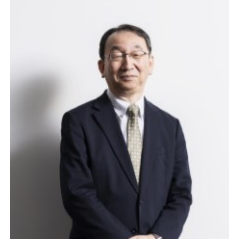
實金清博 / 北大総長
<北海道札幌市出身>



後藤正洋氏 / 当別町
<北海道当別町出身>



三本英司氏 / 奈井江町
<北海道奈井江町出身>



幅崎浩樹 / 北海道大学
<北海道森町出身>



岸邦宏 / 北海道大学
<北海道浜益村(現石狩市)出身>



石井一英 / 北海道大学
<北海道札幌市>



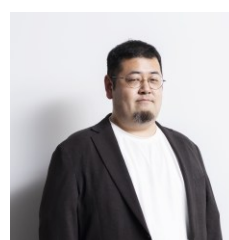
森傑 / 北海道大学
<兵庫県尼崎市出身>



山崎幹根 / 北海道大学
<三重県松阪市出身>



奥本素子 / 北海道大学
<福岡県福岡市出身>



竹口祐二 / 北海道大学
<北海道利尻島出身>



中島佑太 / 北海道大学
<北海道岩見沢市出身>



渡辺康平 / 北海道大学
<北海道石狩市出身>

参加登録はコチラ / 6月26日(金) 締切

※要事前申込です。フォーラム・意見交換会ともに、定員になり次第受付を締め切らせていただきます。
※WEBフォーム: URL / <https://forms.gle/ARLX9xD7s5Vr6Gfd8>

【二次元コード】



【Eメールの場合は以下のとおり】

送付先: info_x-up@eng.hokudai.ac.jp
件名: キックオフフォーラム参加申込
本文: 氏名・所属・役職・連絡先 (Email・電話番号)・フォーラム参加有無・意見交換会参加有無・領収書要否 (宛名) を記入

<お問い合わせ先>

北海道大学 上廣北海道地域共創部門 キックオフフォーラム事務局
担当: たけぐち・すずき TEL: 011-706-8122

ひとつ上の未来へ

上廣北海道地域共創部門



Uehiro Division for Regional
Co-Creation in Hokkaido
Project <Cross-UP>

▼新部門 (X-UP) について

- 設立経緯
- 組織概要
- 体制概略図
- コンセプト
- ビジョン
- ミッション

▼活動計画紹介

- トライアド・アクション
- 共創地域 / 当別町・奈井江町
- メッセージ

▼キックオフフォーラムのご案内

- 開催概要
- 参加申込

▼ 新部門（X-UP）について

設立経緯

北海道では、全国に先駆けて進む人口減少と高齢化、一次産業の担い手不足、気候変動に伴う生態系や暮らしへの影響など多様かつ重層的な課題が顕在化しています。これらの課題解決のためには、特定分野の専門知識だけではなく、幅広い知識や多様な分野の地域プレイヤーとの共創的取り組みが必要であり、その触媒となる「地域リーダー」の存在が求められます。こうした背景を踏まえて、令和8（2026）年4月1日、公益財団法人上廣倫理財団からの支援による寄附部門として、「次代の地域リーダーを育成する拠点」を目指す上廣北海道地域共創部門（Uehiro Division for Regional Co-Creation in Hokkaido）を設置しました。

組織概要

上廣北海道地域共創部門は、持続可能なwell-being社会を目指す本学が北海道の持つ豊富な再生可能エネルギーを最大限活用していくための「知のGX拠点」として令和7（2025）年4月に新設した「グリーントランスフォーメーション（GX）先導研究センター」の新部門として設置しました。部門の活動は、専任チームとして特任准教授1名、特任助教2名、特定専門職員1名の4名が中心となって行い、さらに北海道大学で特に地域共創の取り組みに精力する5名の兼任担当教員がその活動をサポートします。

コンセプト

部門の活動は「地域の人材や魅力が重なり、ひとつ上の未来が芽吹く場所へ」をコンセプトとしています。このコンセプトを旗印として、地域を元気にする北海道モデルを世界に発信したい、そんな思いをもって活動します。そして、北海道が持つ可能性・人材・魅力を重ね合わせて、地域にたくさんのUPを実現するため、未知数の「Xエックス」をクロスと読ませた「X-UP」を部門の愛称としました。

ビジョン

Vision
ふるさとがそれぞれの色で輝く北海道

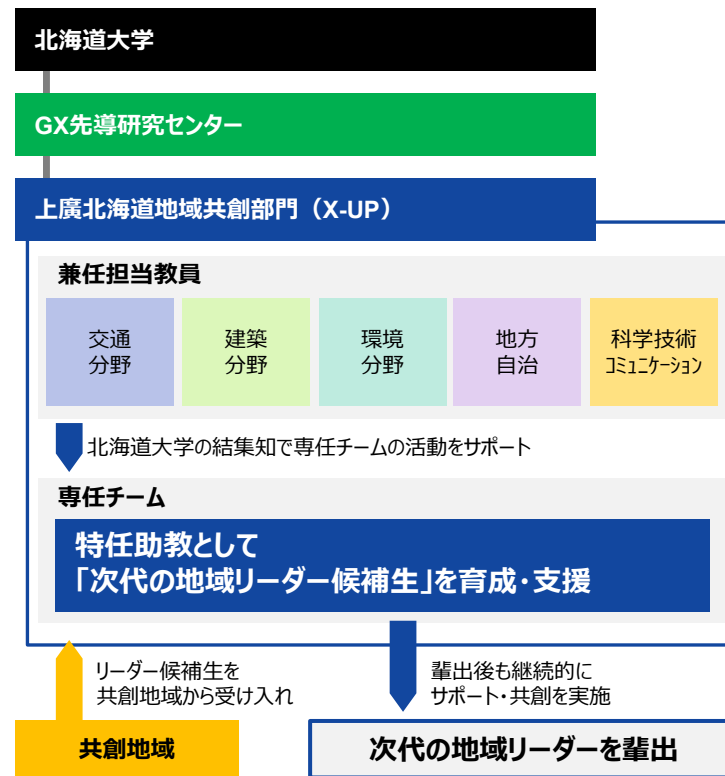
私たちの目指すビジョン＝実現したい未来は、“ふるさとがそれぞれの色で輝く北海道”です。恵まれた再生可能エネルギーや観光資源・食料生産といった北海道の特色を活かして、それぞれのふるさとがそれぞれの色で輝く未来を実現したい。北海道で生まれ育ったひとりひとりが「ここには何も無いから」と諦めなくてもいい、自信を持って「ここが私のふるさとです」と言える“ふるさとデバイドのない北海道”を地域と共に作り、世界に発信していける未来に向けて、私たちは活動していきます。

ミッション

Mission
次代の地域リーダーが芽吹く場所となること

ビジョン実現のために私たちが挑むミッション＝使命は、“次代の地域リーダーが芽吹く場所となること”です。なぜなら、私たちの目指すビジョンの実現には、ふるさとと一緒に取り組む仲間・チームが必要であり、チームにはその触媒となるリーダーの存在が不可欠だからです。輝くふるさとという大きなビジョンに向かうため、一緒に取り組む仲間が集うリーダーを育成するため、北海道大学の結集知とふるさとの魅力・活力を織り合わせて、次代の地域リーダーが芽吹く場所を目指します。

体制概略図



地域の人材や魅力が重なり
ひとつ上の未来が芽吹く場所へ



▼ 活動計画紹介

部門の活動計画

部門は「トライアド・アクション／Triad-Action」を活動の基本構造とします。研究室内で「考える活動＝ラボ・アクティビティー」、地域で「動き・実践する活動＝フィールド・アクティビティー」、活動から「新たな知見を積み重ねる活動＝リーダーシップ・リフレクション」の3つ（Triad：トライアド）を柱とし、試行と蓄積を繰り返すこと（Try-Add：トライアッド）で進化する育成拠点を目指します。


ラボ・アクティビティー

北海道大学の専門知を結集して、地域リーダーとして必要な資質やスキルを磨き、地域課題解決に必要な実践力の獲得を目指します。ここではリーダー候補生向けの学習だけではなく、他の市町村行政職員も受講できる各種セミナーの定期開講も計画しています。

計画中のセミナー例

- ・チームビジョン形成セミナー
- ・ファシリテーションセミナー
- ・課題解決専門知識セミナー
- ・先輩リーダーから学ぶ講話会


フィールド・アクティビティー

共創地域をフィールドとして、課題分析の実施、関係者とのコミュニケーションに基づいた「地域プロジェクト」を企画実践します。このプロジェクトでは、課題解決に本気で取り組むとともに、仲間集めやプロジェクトの企画運営といったリーダーに必要なスキル習得を目指します。

計画中のプロジェクト

- ・当別町での地域プロジェクト
- ・担当：渡辺特任助教
- ・奈井江町での地域プロジェクト
- ・担当：中島特任助教


リーダーシップ・リフレクション

ラボ・アクティビティーやフィールド・アクティビティーの活動状況に加えて、リーダー候補生の成長を記録・分析することで、リーダーシップ育成メソッドの形式知化を目指します。地域に求められるリーダー像・リーダー育成法の知見を蓄積・発信し、地域課題解決を目指します。

形式知化を目指すメソッド

- ・求められる地域リーダー像
- ・リーダータイプ別の育成メソッド
- ・習得すべきスキル・マインド項目
- ・プロジェクトチーム構築メソッド

共創地域紹介

部門が最初に育成する地域リーダー候補生は、当別町と奈井江町から招きました。リーダーに必要なスキル・資質を磨くため、当別町と奈井江町で地域プロジェクトを立ち上げ、その実践を通じて、次代の地域リーダーを育成します。また、次年度以降も更なる地域リーダー育成を目指して、他の道内市町村との共創を募集しています。



当別町は札幌市に隣接しており、都市部へのアクセスが良好であることから、豊かな自然と調和した穏やかな暮らしが実現できるまちです。明治時代には、仙台藩岩出山の領主・伊達邦直公とその家臣団によって町の礎が築かれ、現在では、スウェーデンヒルズに代表される北歐文化が息づき、基幹産業である農業も盛んです。また、当別町では、未来のまちづくりに向けて地域リーダーの育成を進めています。

日本一長い直線道路がまっすぐに貫くまち、奈井江町。東の山並みと石狩川の潤いに抱かれ、豊かな田園風景が四季を彩ります。これらをイメージした町のキャッチフレーズは「ずどーん」。面白いことや楽しいことを企画まちづくりを進めています。自然と人のぬくもりがあふれるこの場所で育つのは、お米やトマト、メロンなどの逸品。安全で美味しい「食」は、このまちの誇りです。

日本一の直線道路のまち

奈井江町

ずどーん

メッセージ

私たちの部門では、ビジョン・ミッションの達成に向けて「新しい仲間」を募集しています。次代の地域リーダーを目指す候補生たちに様々な経験やノウハウを授けてくれる先輩リーダーたち、地域での多様な活動を受け入れてくれる市町村のみならず一緒に活動してくれる民間事業者、新たな地域リーダーの誕生を求める市町村のみならず、そして新たな地域リーダーとして部門の活動に参加したい方。ふるさとデバイドのない北海道を実現するためには、様々な形で様々な思いをもつ皆様との共創が不可欠です。私たちの活動に興味・関心をお持ちいただいた方はぜひ部門事務局までご連絡ください。また私たちからご連絡させていただくこともございます。どうぞよろしくお願い致します。

部門ホームページ

